

2026年1月21日

各 位

会社名 クオリップス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 草薙尊之  
(コード:4894、東証グロース市場)

当社所属研究者による心筋再生研究に関する論文の *Science* への掲載及び  
*Nature Cardiovascular Research* において重要論文として評価を受けたことに関するお知らせ  
～不整脈リスク低減を示す基盤知見が、当社開発研究に必須の科学的基盤に～

クオリップス株式会社（以下：当社）に所属する青山純也マネジャー（医師 博士（医学））が筆頭著者として発表した心筋再生医療に関する学術論文が科学誌 *Science* に掲載されたことに加え、*Nature Cardiovascular Research* において当該分野の重要論文として解説及び評価されましたことをお知らせいたします。

【掲載誌：*Science*】

論文タイトル：Flexible nanoelectronics reveal arrhythmogenesis in transplanted human cardiomyocytes

参考 URL : <https://www.science.org/doi/10.1126/science.adw4612>

【掲載誌：*Nature Cardiovascular Research*】

参考 URL : <https://www.nature.com/articles/s44161-025-00770-7>

本論文では、ヒトiPS細胞由来心筋細胞(hiPSC-CM)移植後の電気生理学的挙動を高精度に解析することにより、心筋再生医療において長年課題とされてきた不整脈リスクを可視化・評価するとともに、そのリスクを低減し得る条件・設計指針を示すことに成功しました。これは、心筋再生医療の安全性確保と臨床実装に向けた重要な進展と認識しています。

本成果は、特定の製品や当社パイプラインそのものを対象としたものではありませんが、当社が現在開発を進めている心筋再生医療において、不整脈リスクを含む安全性設計、非臨床評価及び開発戦略を構築する上で不可欠な科学的基盤となります。心筋再生医療における不整脈リスクが「不可避な問題」ではなく、科学的に解析・管理・低減可能なリスクであることを示した点において、当社の開発戦略と強く整合する成果です。

当社は、本論文で示された知見を、以下の点で活用し、研究開発及び事業開発の加速化を図ってまいります。

- ・再生医療製品における不整脈リスクの評価・低減戦略の設計
- ・非臨床から臨床段階へ移行する際の安全性評価及び規制対応の高度化
- ・心不全・虚血性心疾患を対象とした次世代心筋再生治療の実装

本件は、当社の研究開発が世界トップレベルの学術的知見と強く連動し、再生医療における主要リスクに正面から対応できる体制を有していることを示すものであり、中長期的な企業価値向上に資する重要な基盤と位置付けております。

以上